



# 緑の屋根



伊勢崎市立宮郷第二小学校 学校通信

令和3年度 第7号 令和3年7月5日(月)

## たくさんの保護者の方々にご来校いただき、「わくわく」そして「ドキドキ」していました

5月28日から延期しておりました一日授業参観を6月30日に開催しましたところ、多くの保護者の方々に来校いただき、普段の教育活動をご覧いただきました。

開催案内に記させていただきましたとおり、今回も感染症拡大防止の観点から、授業を中心に学校生活の様子を参観いただきました。当日は、1校時から早速に来校されている保護者の方々の姿を拝見し、本校に対する関心の高さに率直なところ驚かされるとともに大変ありがたく思いました。

各学年とも通常授業を中心に日常的な学習風景をご覧いただけるようにしましたので、児童の学びについて様々な面から感じていただけたことと思います。児童は普段どおりに学習し生活していましたが、保護者の方々に『見られている』ことから、それぞれが「頑張る」様子が窺えた一方で、「うれしい」「恥ずかしい」「照れくさい」などといった気持ち、どこことなく緊張している様子も垣間見えました。

昨年度の学校公開と同様に、参観は各家庭1名で児童1人につき在校時間を1時間以内と制限させていただいたり、健康観察確認書を提出いただいたりとお手数とご面倒をおかけしましたが、保護者の皆様のご理解・ご協力を得て、大きな混乱もなく行うことができました。

ご来校いただいた皆様には、児童の真剣に学ぶ姿や頑張る様子など本校のよさに触れていただき、ご多用にもかかわらずお越しいただいたことに感謝申し上げます。



## 名前のない落とし物が多く、困っています

6月16日～30日までの2週間、4月から届けられた全ての落とし物を「落とし物コーナー」と称して児童玄関に展示しました。6月30日まで展示しておりましたので、授業参観で来校された保護者のなかには、目にされた方もおられたことと思います。衣服、ハンカチ・タオル、水筒などが多く、当初は100に迫る数の落とし物が展示されておりました。(今回、展示したことで半分程度の落とし物が持ち主へ戻ったようですが、全てが戻ることはありませんでした。)



いずれも、名前が記入されていないため、落とし主が分からなかった物ばかりです。誰も落とし物をするとは思いません。そして、落とし物をして物がなくなると不便な生活を強いられることとなります。しかし、名前を書いておくと、校内では持ち主へ速やかに戻ることが多いようです。毎日を不便なく快適に過ごすために、自分の持ち物には必ず名前を書いたり新たに購入した際にはすぐ記名したりする習慣を身に付けたいものです。

# 児童の健康安全を第一に、暑さ対策を講じています

梅雨入りして雨天の日が多くなりましたが、雨が上がって晴れると日差しも強く、夏本番を思わせる暑さを感じます。特に、7月に入ってから気温とともに湿度も上がり、暑さ指数が上昇する日が増えてきました。本校では、児童の健康安全を第一に考えて、感染症対策を考慮しながら主に次のような暑さ対策を講じています。暑い日であっても児童が安全に楽しく学校生活が送れるよう努めています。



- ①換気に留意しながら、教室のエアコンを適切に稼働させて授業を行っています。
- ②校庭や体育館で行う体育の授業では児童に水筒を持参させて、担任の指導の下で活動の合間に給水させるようにしています。また、体育館は、全ての窓を開放して通風と換気に努めています。
- ③体育の授業では、密に留意しながら、必要に応じてマスクを外すよう促して運動させています。
- ④校庭の北西隅にある桜の樹下と体育館入り口付近にWBGT計測器(暑さ指数計測器)を設置し、暑さ指数が31度以上の場合は校庭や体育館での活動を控えています。
- ⑤校庭東・西・北隅に3カ所、よしずを用いた日よけ場所を設置しています。
- ⑥校庭北のよしずを用いた日よけ場所や校庭東のバスケットボールコート等にミストシャワーを設置して、25分休みや昼休みの遊びの最中でも撒水による涼をとれるようにしています。

# タブレットを使うと、やっぱり楽しいなあ

国の「GIGA スクール構想」(伊勢崎市ではGIGAAL スクール構想)に基づいて、児童各々に1台ずつタブレット端末が貸与されることになりました。本校については、まず4～6年生分が搬入され、使用上の留意点の策定や機器のセッティング等を5月中に完了させて、6月から高学年の5・6年生が授業でのタブレット活用を始めました。



5・6年生はこれまでのPC学習の成果もあってか、迷うことなく楽しそうにタブレットを操作しており、頼もしい限りです。今のところは主に調べ学習における情報検索を行っていますが、やがては自らの考えを深める為の情報交換の手段や多様な表現方法を具現化する手段等として活用したいと考えております。そして、タブレットを[個別最適化]へ向けたツールとして活用し、『学習者主体』の授業を展開させたいと考えています。

まずは、「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びとして、次に示したステップの第1歩を踏み出したと感じました。

- ステップ1 『誰もがすぐに情報を収集できる。』
- ↓
- ステップ2 『収集した情報を整理・分析して、自らの考えとして統合したり多面的・多角的な見方や考え方を身に付けて学びを深めたりする』
- ↓
- ステップ3 『自他の考えを交流させたり時系列に沿って思考の変容を比較したりして、空間的かつ時軸的に学びをつなぐ。』

なお、4年生については7月から授業での使用を始めています。1～3年生分のタブレットは6月最終週に搬入されましたので、順次、保管や充電の方法を教えつつ、触れる機会を可能な限り多く設定することで学習機器として早く慣れるようにしていきたいと考えています。